



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月9日
上場取引所 大

上場会社名 大成温調株式会社
コード番号 1904 URL <http://www.taisei-oncho.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆義
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 奥山 徹 TEL 03-5742-7301
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,861	25.5	△421	ー	△311	ー	△184	ー
24年3月期第1四半期	7,856	19.2	△132	ー	△116	ー	△110	ー
(注) 包括利益	25年3月期第1四半期		△114百万円 (ー%)		24年3月期第1四半期		△83百万円 (ー%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△13.85	ー
24年3月期第1四半期	△8.31	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	36,663	17,612	48.0	1,325.61
24年3月期	38,596	17,965	46.5	1,352.18
(参考) 自己資本	25年3月期第1四半期	17,612百万円	24年3月期	17,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	0.00	ー	18.00	18.00
25年3月期	ー				
25年3月期(予想)		0.00	ー	13.00	13.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	9.0	△330	ー	△330	ー	△250	ー	△18.82
通期	47,000	△2.5	620	18.9	620	△15.5	250	88.3	18.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	14,364,975株	24年3月期	14,364,975株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,078,820株	24年3月期	1,078,320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	13,286,567株	24年3月期1Q	13,287,143株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に回復の兆しはあるものの、欧州の財政・金融不安による世界的な景気減速や円高の長期化、さらには電力供給不安等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ関連の建設業界におきましても、公共投資の増加がみられたものの、民間設備投資は依然として低調に推移し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比26.0%減の113億85百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は98億61百万円（前年同四半期比25.5%増）となり、営業損失は4億21百万円（前年同四半期は営業損失1億32百万円）、経常損失は3億11百万円（前年同四半期は経常損失1億16百万円）、四半期純損失は1億84百万円（前年同四半期は四半期純損失1億10百万円）となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きくなる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費などの固定費は各四半期にほぼ均等に発生するため、利益が連結会計年度末に偏るといった季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、「インド」及び「フィリピン」に関しましては、前連結会計年度末に報告セグメントとして追加したため、前年同四半期比は記載しておりません。

① 日本

売上高につきましては72億9百万円（前年同四半期比11.8%増）となり、セグメント損失は4億37百万円（前年同四半期はセグメント損失32百万円）となりました。

② 米国

売上高につきましては9億48百万円（前年同四半期比13.0%減）となり、セグメント損失は55百万円（前年同四半期はセグメント損失42百万円）となりました。

③ 中国

売上高につきましては16億42百万円（前年同四半期比417.8%増）となり、セグメント利益は1億10百万円（前年同四半期はセグメント損失57百万円）となりました。

④ インド

売上高につきましては47百万円となり、セグメント損失は3百万円となりました。

⑤ フィリピン

売上高につきましては13百万円となり、セグメント損失は35百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は366億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億33百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、受取手形・完成工事未収入金等が56億78百万円減少し、現金預金が35億86百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は190億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億79百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、支払手形・工事未払金等が22億51百万円減少し、未成工事受入金が5億43百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は176億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億53百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が4億23百万円減少し、為替換算調整勘定が95百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現在の経済環境を考慮すると不透明な要因も多くあり、今後も厳しい経済環境が続くものと予想されることから、平成24年5月17日に公表いたしました「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕

(連結)」の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の変更はいたしません。なお、業績修正が必要と判断された場合には、速やかに別途お知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,953,755	13,540,063
受取手形・完成工事未収入金等	18,719,030	13,040,508
有価証券	94,122	43,931
未成工事支出金	1,649,048	1,704,945
商品	22,050	8,143
原材料	78,831	92,568
繰延税金資産	337,465	354,654
その他	1,292,994	1,189,945
貸倒引当金	△169,628	△64,421
流動資産合計	31,977,669	29,910,339
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,500,629	3,520,839
機械、運搬具及び工具器具備品	785,103	840,952
土地	1,876,868	1,880,756
建設仮勘定	81,375	110,473
その他	74,718	79,087
減価償却累計額	△2,745,106	△2,802,146
有形固定資産合計	3,573,587	3,629,964
無形固定資産	44,132	51,665
投資その他の資産		
投資有価証券	1,655,878	1,630,331
長期貸付金	225,311	396,735
繰延税金資産	344,583	358,515
その他	1,691,817	1,702,693
貸倒引当金	△916,551	△1,017,198
投資その他の資産合計	3,001,040	3,071,076
固定資産合計	6,618,760	6,752,706
資産合計	38,596,429	36,663,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	15,371,316	13,119,821
短期借入金	414,711	850,043
未払法人税等	491,875	43,648
未成工事受入金	2,316,344	2,860,060
賞与引当金	281,853	143,190
完成工事補償引当金	17,230	16,467
工事損失引当金	389,703	476,141
その他の引当金	5,531	9,437
その他	755,290	897,326
流動負債合計	20,043,856	18,416,137
固定負債		
長期借入金	1,836	1,967
退職給付引当金	424,249	465,844
その他の引当金	33,958	35,495
負ののれん	54,244	49,723
その他	72,317	81,578
固定負債合計	586,606	634,609
負債合計	20,630,463	19,050,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,087,248	5,087,248
利益剰余金	8,640,866	8,217,659
自己株式	△306,354	△306,501
株主資本合計	18,616,817	18,193,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128,938	102,817
為替換算調整勘定	△779,789	△683,981
その他の包括利益累計額合計	△650,850	△581,163
純資産合計	17,965,966	17,612,299
負債純資産合計	38,596,429	36,663,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高		
完成工事高	7,653,982	9,694,269
その他の事業売上高	203,003	166,922
売上高合計	7,856,986	9,861,191
売上原価		
完成工事原価	6,850,546	9,163,725
その他の事業売上原価	160,107	114,471
売上原価合計	7,010,654	9,278,197
売上総利益		
完成工事総利益	803,435	530,544
その他の事業総利益	42,896	52,450
売上総利益合計	846,332	582,994
販売費及び一般管理費	978,664	1,004,930
営業損失(△)	△132,332	△421,935
営業外収益		
受取利息及び配当金	24,845	21,742
受取保険金	—	55,645
為替差益	—	9,671
貸倒引当金戻入額	2,648	4,670
その他	12,105	24,435
営業外収益合計	39,599	116,165
営業外費用		
支払利息	1,831	3,917
為替差損	19,660	—
その他	2,522	1,615
営業外費用合計	24,015	5,532
経常損失(△)	△116,748	△311,302
特別損失		
投資有価証券評価損	—	14,164
特別損失合計	—	14,164
税金等調整前四半期純損失(△)	△116,748	△325,467
法人税等	△6,353	△141,420
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△110,395	△184,047
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△110,395	△184,047

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△110,395	△184,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,820	△26,121
為替換算調整勘定	48,452	95,807
その他の包括利益合計	26,631	69,686
四半期包括利益	△83,763	△114,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,763	△114,360

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,448,963	1,090,871	317,151	7,856,986	—	7,856,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,448,963	1,090,871	317,151	7,856,986	—	7,856,986
セグメント損失(△)	△32,654	△42,032	△57,976	△132,664	△232	△132,896

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失(△)	金額
報告セグメント計	△132,664
「その他」の区分の損失(△)	△232
セグメント間取引消去	563
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△132,332

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本	米国	中国	インド	フィリピン	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,209,336	948,922	1,642,256	47,135	13,541	9,861,191	—	9,861,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,209,336	948,922	1,642,256	47,135	13,541	9,861,191	—	9,861,191
セグメント利益又は損失(△)	△437,508	△55,047	110,020	△3,627	△35,526	△421,688	△246	△421,935

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、豪州の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失(△)	金額
報告セグメント計	△421,688
「その他」の区分の損失(△)	△246
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△421,935

4. 補足情報

個別受注工事高、完成工事高、繰越工事高の状況

期別	区分	期首繰越工事高 (千円)	期中受注工事高 (千円)	計(千円)	期中完成工事高 (千円)	期末繰越工事高 (千円)
前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	一般施設工事	23,732,415	4,502,720	28,235,136	3,303,687	24,931,449
	産業施設工事	3,662,004	1,895,847	5,557,851	658,643	4,899,208
	営繕・保守工事	4,028,027	4,820,023	8,848,051	2,300,422	6,547,629
	計	31,422,447	11,218,592	42,641,039	6,262,753	36,378,286
当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	一般施設工事	18,936,162	2,892,346	21,828,508	3,186,362	18,642,146
	産業施設工事	5,735,595	1,664,117	7,399,713	1,284,366	6,115,346
	営繕・保守工事	4,046,015	3,683,385	7,729,400	2,579,563	5,149,836
	計	28,717,773	8,239,849	36,957,622	7,050,292	29,907,330
前事業年度 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	一般施設工事	23,732,415	15,006,107	38,738,522	19,802,360	18,936,162
	産業施設工事	3,662,004	8,949,171	12,611,175	6,875,580	5,735,595
	営繕・保守工事	4,028,027	12,269,707	16,297,735	12,251,720	4,046,015
	計	31,422,447	36,224,986	67,647,434	38,929,661	28,717,773

(注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合、期中受注工事高にその増減額が含まれております。したがって、期中完成工事高にも係る増減額が含まれております。

2. 期末繰越工事高は(期首繰越工事高+期中受注工事高-期中完成工事高)に一致しております。